

活動プログラムシート

<貸出ツール番号:E11>

あかりいろいろ

～ライトダウンで満天の星空をとり戻せ～



全国地球温暖化防止活動推進センター

2016年3月 Ver.01

JCCCAの活動プログラムとは…

参加者が地球温暖化問題と自分自身のつながりを知り、地球温暖化防止のために様々な行動をはじめるときっかけとなるプログラムツールを独自に開発しています。

●活動プログラムは、温暖化の情報を見聞きするだけではなく、参加者が頭や体を使ったりグループワークをしながら温暖化問題を考え、その防止への一歩を踏み出すきっかけとなるように工夫されています。

●この「プログラムシート」には、活動プログラムの「ねらい」や「手順」「注意点」などを記載してあります。ご利用の際に活用してください。

●プログラムの内容については、地域の特性、対象者の年齢や興味関心、かけられる時間、人数などによってアレンジしてください。

●ご活用後の感想やお気づきの点、活用の事例などを、添付のアンケート用紙にお書きください。皆様のご意見をプログラムの改良や新規開発に活かし、全国へ再発信してまいります。

お問合せやご質問などは、下記までご連絡ください。

全国地球温暖化防止活動推進センター

電 話 03-6273-7785

1 ねらい／テーマ

自分にとって必要な「明かり」とはどのようなものだろう？現在の星空と満天の星空の比較体験や箱型コミュニケーションツール「あかりボックス」を通して考え、生活の中の「照明」にクローズアップし理解を深め、行動へとつなげる。

テーマ：地球温暖化の対策（照明・ライトダウン）

2 概要

自分にとって必要な「明かり」とはどのようなものだろう？現在の星空と満天の星空を比較体験できるツールや工作「マイ星空づくり」やコミュニケーションワーク「あかりボックス」を通して、明かりを見直すきっかけを提供する。

- 所要時間・・・40分程度
- 対象層・・・小学校中学年程度から
- 適数・・・指導者1名あたり参加者20名程度（参加者は40名程度まで可能）

3 皆さんにご用意いただくもの

※JCCCAからの貸出物は、ツールボックスに入れてさせて頂いている「チェックリスト」をご覧ください。

・工作「マイ星空づくり」をする場合

⇒グループワークをすることができる机やスペース、椅子など。

竹串や押しピンなど、星空盤に穴あけするための道具。先が尖っていますので取扱いには充分ご注意ください。



詳細の工作方法はP.4「マイ星空づくり（工作）の実施方法」をごらんください。

4 関連づけしやすいJCCCAの教材ツール

■【A03-04】エコのタネを見つけよう

http://www.jccca.org/tool/list/list_a03-04.html

■【A04-01～04】夜の地球シリーズ

http://www.jccca.org/tool/list/list_a04-01.html


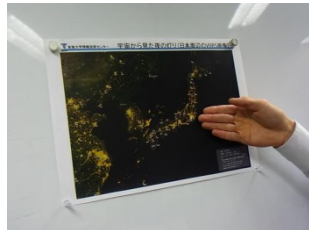
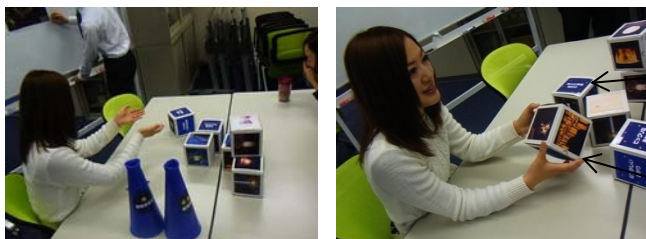
■【A04-08】夜の日本～横断幕タペストリー～



http://www.jccca.org/tool/list/list_a04-08.html

■【E09】〇〇ボックス

http://www.jccca.org/tool/list/list_e09.html

5 活動プログラムの進め方(例)

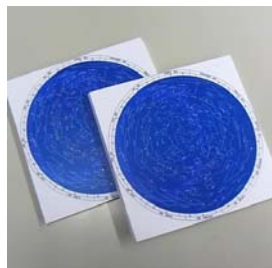
形態	時間	使用ツール	内容
導入	5分	星空メガホン	<p>ライトダウンされた満天の星空と都市部の星空を比較する</p> <p>2種類の星空メガホンをを用いる。実際に手に取り、覗いて比較しながら、違いの原因を考え「気づき」を引き出す。</p>  <p>＜星空メガホン 2種類＞ 「満天の星空」 →5等星まで見える状態を表現しています。 モデル都市は山梨県の八ヶ岳を想定。 「都市部の星空」 →1等星のみ見える表隊を表現しています。 モデル都市は東京を想定。</p> <p>「満天の星空づくり(工作)」もできます！ 工作ワークをする時間、スペースがある場合は組み合わせて実施してみましょう。(詳細は次のページ参照)</p> <p>声掛けの例: 「最近、星空を見えていますか？ 東京と八ヶ岳、何がちがうんだろう？ 空気の澄み具合？ 周りの明るさでしょうか？」</p>
本体	5分	フリップ「夜の日本」	<p>フリップ「夜の日本」を通して、今の日本のあかりの状況を知る</p> <p>夜の日本のフリップを用いる。参加者に対し「どうしてこんなに明るいのか」をたずねながら、今の日本のあかりの現状を知る。</p>  <p>声掛けの例:「これが今の日本の夜の姿です。たくさんのおかりが使われているので、日本は形がわかるくらいにくっきり浮かび上がっていますね。」</p> <p>他にも参加者の意見を聞いてみましょう。</p>
本体	10分	ボックス「お題目ボックス」「あかりボックス」	<p>様々な明かりを通して、あかりに対する考えを意見交換する</p> <p>6面に「お題」が書かれているサイコロ「お題目ボックス」をふって、自分の考えを发表しよう。</p>  <p>声掛けの例:夜の日本の光の原因になっている「あかり」ですが、どんなあかりがあるのでしょうか？「お題目ボックス」をふって、出た面に対応するあかりを「あかりボックス」の面から探してみてください。また、どうしてその「あかり」を選んだのか、発表をしてください。</p> <p>ワンポイントアドバイス:「お題目サイコロ」で出た面と、自分が選んだ「あかりボックス」の面を合わせて発表すると良いでしょう。たくさんある場合は複数選んでも構いません。どうしてその「あかり」を選んだのか、声掛けに工夫をして理由をひきだしてください。正解はありませんので、参加者の「あかり」に対する価値観を意見交換できると良いでしょう。</p>

形態	時間	使用ツール	内容
まとめ	10分	図表 2点	<p>ワークを通して、考えたことをまとめる</p> <p>図表「あかりの種類で～」「家庭のなかで電気をたくさん～」の情報を伝え、これからの自分の生活とあかりの関係を改善していききっかけとする。</p>   <p>声掛けの例： 温暖化の原因になるCO2排出の原因のひとつには、あかり（照明）も挙げられます。消費電力の少ないあかりを選んでみたり、必要のないあかりは使わないなどの工夫もできると思います。 ライトダウン（夏至や冬至）の際には、家のあかりを消して、満天の星空を眺めてもいいですね！ 他にも、スーパームーンや天体ショーを楽しみながら、あかりとの付き合い方を考えてみてください。</p>

※時間配分はあくまでも目安です。人数や場のづくり、目的に応じて深める時間をとっても良いでしょう。

マイ星空づくり(工作)の実施方法

①ハレパネ(スチレンボード)に、コピーした星座早見盤用紙を貼って、人数分準備します。あらかじめ、竹串や押しピンなどを準備しておきます。



②参加者は、竹串や押しピンなどで星に穴を開けて作業していきます。



穴は貫通させる必要はありません！
プスッ、プスッと軽く刺す程度で光がとおります。
たまに光にかざしながら、作業を進めてください。

<注意>

- ・穴開けには先の尖ったものを使用しますので、小学校低学年以下の子供の場合、安全管理に十分注意してください。
- ・ハレパネの代用品として、段ボールなどでも作れますが、星空に光が入りにくくなる場合があります。工夫してご準備ください。

7 関連情報

■参考情報

・省エネ家電買換ナビゲーション「しんきゅうさん」～LED照明への買換え効果

<http://shinkyusan.com/ledlight01.html>

・アストロアーツ「星座早見盤ぐるぐる」型紙ダウンロード

<http://www.astroarts.co.jp/hoshinavi/magazine/planisphere/index-j.shtml>

・一般社団法人 日本照明工業会

<http://www.jlma.or.jp/>

8 地域でのアレンジについて

○自分の街の星空を観察してみよう

自分の街の夜空の星は何等星まで見えるだろう？ライトダウンするとどんな変化があるだろう？町の天体観測施設やプラネタリウム、科学館と連携してツールをアレンジしてみてください。

○身の周りで使っている明かりについて考えてみよう

家の中にはどのくらいの照明がある？どんな種類の明かりがある？一日どのくらい使っているだろう？具体的な調べ調査や対話をもとに、「明かり」と賢く付き合うためにできることを考えてみてみてもいいかもしれません。

● 謝 辞 ●

このツールは、平成27年度基盤形成事業「地域協働ツール開発企画」において山梨県地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人キープ協会）とともに開発したものを全国に向けて展開しています。ここに感謝の意を表します。

● 情報提供のお願い ●

「こんなふうに使ってみたよ」「こんなデータが集まった」というような情報など、ぜひJCCCAへお知らせください。プログラムや教材ツール開発に活かし、全国へと再発信してまいります。よろしくお願ひします。